

甲 第 号

仲西 康顕 学位請求論文

# 審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

## 論文審査の要旨及び担当者

報告番号	甲第	号	氏名	仲西 康顕
論文審査担当者	委員長		教授	川口 昌彦
	委員		教授	川手 健次
	委員		教授	田中 康仁
	(指導教員)			

### 主論文

Ultrasound-guided Selective Sensory Nerve Block for Wide-awake Forearm  
Tendon Reconstruction

超音波ガイド下選択的知覚神経ブロックによる、前腕腱機能再建のための  
wide-awake surgery

仲西 康顕、 面川 庄平、 小畠 康宣、 清水 隆昌、  
吉良 務、 大西 正展、 速水 直生、 田中 康仁

Plastic and Reconstructive Surgery. Global Open. 5; e392. 2015

## 論文審査の要旨

本研究は前腕部での腱機能再建術に対して、超音波機器を用いた選択的知覚神経ブロックにより、従来と比較して少量の局所麻酔薬で、術中の手指自動運動を保ちながら腱の機能を再建する wide-awake surgery が可能である事を明らかにする目的で行われた。

従来は、術野に対して局所浸潤する方法により大量の局所麻酔薬を注入していた手法を改善し、超音波ガイド下に知覚神経の経路を選択的にブロックすることで、より少量の局所麻酔薬による wide-awake surgery が可能であった。前腕の手術における術中の痛みが、皮膚・筋膜・骨膜に存在し、各ターゲットに対して超音波での末梢神経の正確なブロックにより、運動機能を保った状態での腱機能再建術が可能となることを示す研究である。

本研究は痛みの経路に対する解剖学的なブロック手技のアプローチと、局所麻酔薬中毒の危険性が低いより安全な手指腱機能再建術の可能性を示すものである。臨床医学分野のさらなる発展に寄与するものと評価され、医学博士の学位に値すると考える。

## 参 考 論 文

1. Biomechanical study of distal radioulnar joint ballottement test.  
Onishi T, Omokawa S, Iida A, Nakanishi Y, Kira T, Moritomo H, Ruxasagluwang S, Kraissarin J, Shimizu T, Tanaka Y.  
Journal of Orthopedic Research. 29: 2016 [Epub ahead of print]
2. 鏡視下母指 CM 関節形成術後の臨床成績とレントゲン評価の関連  
速水 直生, 面川 庄平, 仲西 康顕, 清水 隆昌, 吉良 務, 田中 康仁  
日本手外科学会雑誌 32: 369-373, 2016.
3. Effectiveness of Bone Marrow Stromal Cell Sheets in Maintaining Random-Pattern Skin Flaps in an Experimental Animal Model.  
Kira T, Omokawa S, Akahane M, Shimizu T, Nakano K, Nakanishi Y, Onishi T, Kido A, Inagaki Y, Tanaka Y.  
Plastic and Reconstructive Surgery. 136: 624-632. 2015
4. うまくいく！ 超音波で探す末梢神経  
監修：田中 康仁 著者：仲西 康顕  
メジカルビュー社 2015
5. 指尖損傷に対する動脈皮弁再建後の機能評価  
鍛冶 大祐, 川西 弘一, 面川 庄平, 中野 健一, 仲西 康顕, 田中 康仁  
日本手外科学会雑誌 30: 953-956, 2014
6. Intra-articular distal radius fractures involving the distal radioulnar joint (DRUJ): three dimensional computed tomography-based classification.  
Nakanishi Y, Omokawa S, Shimizu T, Nakano K, Kira T, Tanaka Y  
Journal of Orthopedic Science. 18: 788-792. 2013
7. 60 歳以上における血管柄付き骨移植術による四肢難治性偽関節の治療  
村田 景一, 面川 庄平, 小島 康宣, 仲西 康顕, 清水 隆昌, 中野 健一, 吉良 務,  
田中 康仁, 矢島 弘嗣, 河村 健二  
日本マイクロサージャリー学会会誌 26: 81-86, 2013
8. 大腿骨転子間骨折術後に仮性動脈瘤を生じた 1 例  
衣川 和良, 松村 憲晃, 仲西 康顕  
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 54: 315-316, 2011
9. 上腕骨遠位骨幹部骨折に伴った橈骨神経断裂に神経縫合術を施行した 1 例  
衣川 和良, 松村 憲晃, 仲西 康顕  
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 53: 1141-1142, 2010
10. 橈骨遠位端骨折の良好な整復には早期の手術が必要  
仲西 康顕, 武内 亜紀子, 小野 浩史, 古田 和彦  
日本手の外科学会雑誌 25: 671-673, 2009
11. 関節リウマチにおける Sauve-Kapandji 変法後のギプス固定は必要か？  
福居 顕宏, 吉井 尚, 植田 康夫, 仲西 康顕  
日本手の外科学会雑誌 24: 1030-1034, 2008
12. CT 撮影による橈骨遠位端骨折の Reliability

- 仲西 康顕, 小野 浩史, 藤谷 良太郎, 古田 和彦, 大田 大良  
日本手の外科学会雑誌 23: 850-853, 2006
13. 高齢者の橈骨遠位端骨折に対する掌側 locking plate の成績  
大田 大良, 小野 浩史, 古田 和彦, 仲西 康顕, 藤谷 良太郎  
日本手の外科学会雑誌 23: 421-424, 2006
14. 橈骨遠位端骨折に対する掌側プレートの固定力の比較 X線解析  
古田 和彦, 大田 大良, 小野 浩史, 藤谷 良太郎, 仲西 康顕  
日本手の外科学会雑誌 23: 287-291, 2006
15. SLAC 手関節症に対する four corner 固定術の成績  
小野 浩史, 古田 和彦, 仲西 康顕, 面川 庄平, 藤谷 良太郎  
日本手の外科学会雑誌 23: 274-278, 2006
16. TFCC 三角靭帯起始部転位を伴った尺骨茎状突起変形治癒  
小野 浩史, 藤谷 良太郎, 古田 和彦, 仲西 康顕  
日本手の外科学会雑誌 22: 116-119, 2005
17. Erb 型分娩麻痺に対する尺骨神経部分移行術による肘屈曲再建の 1 例  
仲西 康顕, 矢島 弘嗣, 小島 康宣, 重松 浩司, 高倉 義典  
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 46: 77-78, 2003

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに整形外科学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 28 年 11 月 8 日

学位審査委員長

侵襲制御・生体管理医学

教 授 川口 昌彦

学位審査委員

運動器再建医学

教 授 川手 健次

学位審査委員（指導教員）

運動器再建医学

教 授 田中 康仁